

事業目的

エクソームは、細胞から放出される直径30～150ナノメートルの膜小胞である。小胞内部に核酸やタンパク質等の生体情報伝達物質を含むため、診断薬や医療分野への応用が期待されている。

当社が最終的に目指すエクソーム創薬に係るCDMO(医薬品開発製造受託機関)事業の実現には、製造から品質評価・薬効検証まで一貫したEVs製剤の開発プロセスを確立することが重要となる。本事業では、当社が保有する「高純度・高回収のEVs精製技術(HAS法)」と「マクロファージ系指向性EVsの產生技術」を統合し、エクソーム創薬を支える製造・品質評価基盤の構築を目指す。

事業内容

上述したように、エクソーム製剤のCDMOを目指すためには、その製造・品質評価基盤の構築が重要となる。そのため、本事業では、以下のPoCに取り組む。

- ①多種MSCを用いたEVs製剤製造の再現性検証
- ②ヒト投与可能な培地を用いた培養条件最適化
- ③薬効因子を含むEVsの構造的・定量的同定
- ④in vitro/in vivoの力価評価系の確立
- ⑤リッタースケール対応の特殊ハイドロゲル量産化技術の確立

事業成果

事業者情報

株式会社Egret・Lab
(徳島大学発スタートアップ)

所在地:徳島県徳島市
設立年:2023年2月
HP:<https://egret-lab.com>



概要図等

